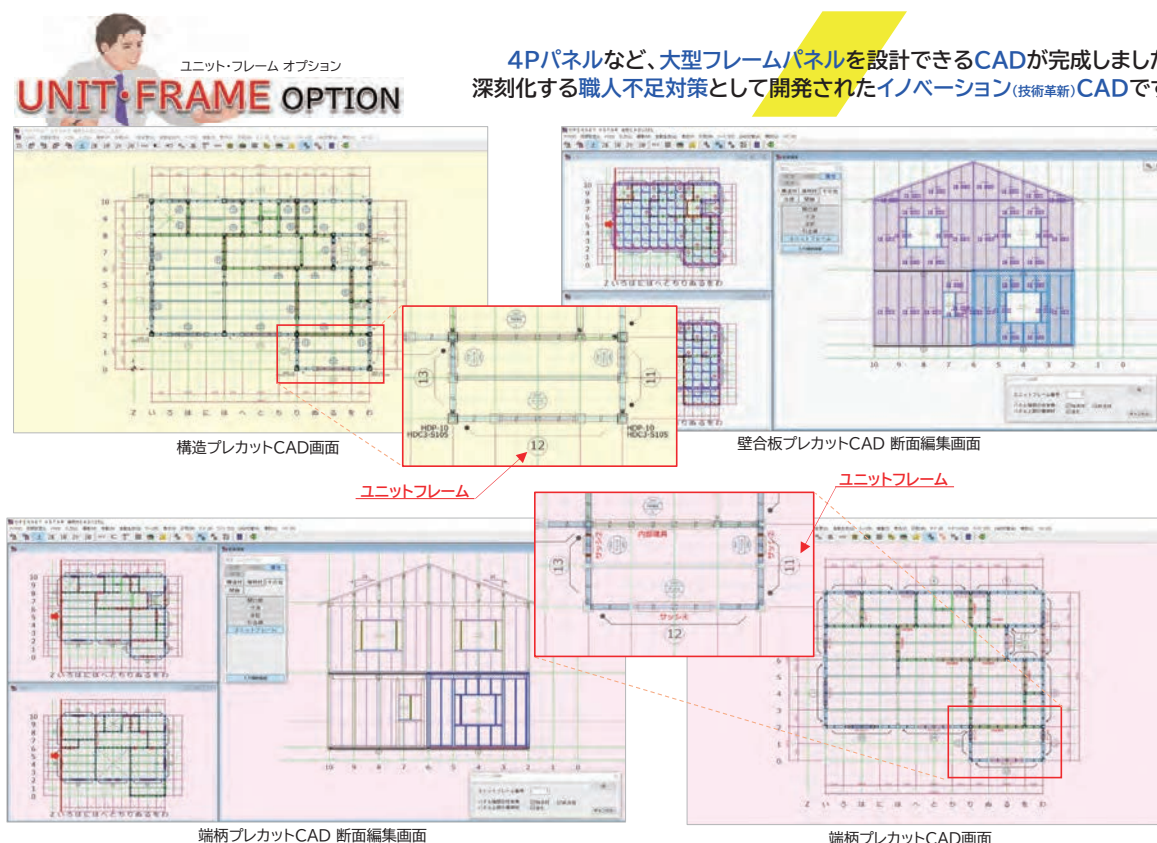


「ユニットフレーム・オプション」をリリース ネットイーグル(株)



「Xstar」のオプションシステムである大型フレームパネル設計 CAD「ユニットフレーム・オプション」

近年、住宅生産の現場では高い住宅性能が求められる一方、職人・大工の高齢化や人材不足が深刻化している。総務省の労働力調査によると、2015年の技能労働者の総数は約330万人で、そのうち29歳以下の若年層は約36万人と約1割にとどまっており、技能労働者の高齢化が進行している。また、5年ごとに実施している国勢調査によれば2000年に約64万人いた大工人口は2010年には約39万人にまで減少。そして、2020年には約21万人にまで落ち込むと予測されており、木造住宅の施工を担う大工人口の確保・育成が喫緊の課題となっている。

こうしたなか、木造住宅の生産合理化を目指す動きが加速しており、現場における人手不足を補うための様々な工法が開発されてきた。そのなかでも、柱や梁などの構造材、耐力面材、接合金物、断熱材、サッシ、

防水シートなどを一体化したパネル工法は、少人数・短工期で建て方工事を行えることから、ここ数年で急速に普及が進んでいる。

大型パネルを設計できる CAD が登場

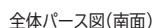
こうした建設産業におけるパネル工法の普及を受け、木造住宅のCAD/CAMシステム大手のネットイーグル(株) (福岡県福岡市、祖父江久好社長) では、構造プレカッタCAD「OPEN-NET Xstar」のオプションとして、金物工法の構造躯体の外部フレームをパネル化(4Pパネル等)する、大型フレームパネル設計CAD「ユニットフレーム・オプション」を新たに開発し、昨年12月にリリースした。

伏図画面上でユニットフレームのパネル領域を指示

同社の祖父江社長に今後の展開などを伺ったところ「ユニットフレーム・オプションは岩手と長崎の企業様からの要請を受けて開発したもので、深刻化する



職人不足に対応できる“イノベーションシステム”としてオープンに普及・拡大を図っていきたい。テックワンなど金物工法を用いたサービス付き高齢者住宅など非住宅には最も有効で合理的だと思う。現時点で決まった導入先は5社ほどですが、これから全国へアナウンスします。また、“在来工法”への対応や“外断熱仕様”への展開を別の企業様から要請されているので、今年の早い段階で対応できるよう開発を進めています」と話している。



構成材明細書

ユニットフレーム組立図